

南房総市中継施設整備及び運営事業
審査講評

令和7年2月

南房総市中継施設建設運営事業
総合評価入札審査会

目次

1. 総合評価入札審査会の構成.....	3
2. 総合評価入札審査会の開催経過.....	4
3. 最優秀提案者の選定結果.....	5
4. 落札者の決定.....	11
5. 審査講評.....	11
6. 総評.....	13

1. 総合評価入札審査会の構成

提案書類等の審査にあたっては、「南房総市中継施設建設運営事業総合評価入札審査会（以下「入札審査会」という。）」を設置した。

入札審査会は、以下に示す南房総市（以下「本市」という。）の職員及び学識経験者7名の委員で構成し、非公開とした。

表1 委員構成

区分	氏名	所属・職名
庁内委員（委員長）	嶋田 守	南房総市副市長
庁内委員	座間 好雄	南房総市総務部長
庁内委員	小野 恵二	南房総市農林水産部長
庁内委員（委員長代務者）	鎌田 振郎	南房総市建設環境部長
庁内委員	眞田 裕之	南房総市水道局長
特別委員（学識経験者）	荒井 喜久雄	元（公社）全国都市清掃会議 技術指導部長
特別委員（学識経験者）	小林 潤	工学院大学工学部機械工学科 教授

2. 総合評価入札審査会の開催経過

入札審査会の開催経過は、以下に示すとおりである。

表2 入札審査会の開催経過

日程		審議内容等
第1回	令和6年10月7日（月）	・入札審査会について ・事業の概要及び経過報告について ・審査方法（落札者決定基準）について ・入札公告資料について ・プレゼン・ヒアリングの進め方について
第2回	令和7年1月15日（水）	・入札審査会の流れについて ・基礎審査結果の報告 ・提案内容調書及び提案質問回答の説明 ・提案内容調書に基づく意見交換 ・評価方法及び集計について ・プレゼン・ヒアリングについて事前説明 ・プレゼンテーション及びヒアリング ・提案評価（合議） ・総合評価 ・最優秀提案者の選定

3. 最優秀提案者の選定結果

最優秀提案者として、新明和工業株式会社グループを選定した。各審査結果は、以下に示すとおりである。

(1) 参加資格審査

令和6年10月16日に入札公告を行い、令和6年10月16日から11月8日まで参加表明書及び参加資格審査申請書類を受け付けたところ、以下に示す1グループから申請があった。

本市において参加資格審査を行い、参加資格要件を満たしていることを確認し、令和6年11月12日に代表企業に対し参加資格審査の確認結果を書面にて通知した。

なお、審査においては、公平性・公正性を確保するため、各入札参加者には提案書作成にあたって、以下に示す参加者番号を用いるよう通知した。したがって、入札審査会は企業名を知ることなく審査を行った。

表3 参加者一覧及び参加資格審査結果

グループ名	構成企業		判断	参加者番号
新明和工業株式会社グループ	代表企業	新明和工業株式会社 流体事業部 営業本部	合格	001
	構成企業	株式会社市川環境エンジニアリング		

(2) 提案書類の基礎審査

令和6年11月15日から12月13日に各入札参加者から提案書類の提出期間を設け、1グループから提案書類が提出された。

提案書類について、本市が「落札者決定基準 IV 1 審査方法 表1 基礎審査の項目」に基づき審査し、基礎審査の項目すべてを満たしていることを確認した。

表4 提案書類の基礎審査結果

参加者番号	判断
001	合格

(3) 提案内容の加点審査

令和7年1月15日の第2回総合評価入札審査会において、提案書類の審査を行った。提案書類の審査に際しては、入札審査会による提案書類に係る個別ヒアリングを同日に実施し、入札参加者から提案内容の説明や委員による質疑を行った。

その後、提案内容の加点審査を行った。加点審査は、落札者決定基準に基づき提案書類の提案内容について審査し、「入札価格以外の得点化方法」に示す5段階評価にしたがって、委員の合議により当該入札参加者の提案内容を評価し得点化を行った。

表5 入札価格以外の得点化方法

評価	判断基準	得点化方法
A	特に優れた提案	(配点×1.00)
B	AとCの中間程度	(配点×0.75)
C	優れた提案	(配点×0.50)
D	CとEの中間程度	(配点×0.25)
E	要求水準を満たす程度	(配点×0.00)

また、各項目の審査のポイントは以下に示すとおりである。

表6 入札価格以外の審査のポイント

審査項目（小項目別）	配点
1. 設計・建設業務に関する事項	30点
(1) 安定稼働	4点
・ 処理困難物の混入防止に資する設計上の工夫として優れた提案がなされているか。	
・ ごみ量・ごみ質の変動等に対する設計上の工夫として優れた提案がなされているか。	
・ 処理の高度化・省力化に資する設計上の工夫として優れた提案がなされているか。	5点
(2) 施設配置・動線計画	
・ 各車両動線（特に一般持込）の安全性に配慮した施設配置・動線計画として優れた提案がなされているか。	
・ 各車両動線（可燃残渣運搬車含む）の利便性・作業効率等に配慮した施設配置・動線計画として優れた提案がなされているか。	5点
・ 資源化施設内の選別作業や一般持込受入所の安全かつ効率的な受入に配慮した施設内配置・機能として優れた提案がなされているか。	
(3) 環境負荷の低減	
・ 各施設における省エネルギー化の推進に資する設計上の工夫として優れた提案がなされているか。	5点
・ 環境負荷低減に配慮した工事車両・重機、運搬車両等の選定について優れた提案がなされているか。	
・ 排水の再利用に向けた設計上の工夫として優れた提案がなされているか。	

審査項目（小項目別）		配点
	・ その他環境負荷の低減に資する設計上の工夫として優れた提案がなされているか。	
	(4) 非常時の継続稼働 ・ 地震対策、強風対策等に向けた施設の強靱化に資する設計上の工夫として優れた提案がなされているか。 ・ 施設の事故・不具合等に対する設計上の工夫として優れた提案がなされているか。（具体的に想定される事故・不具合等を挙げて、その対策を示すこと。）	4点
	(5) 工期遵守 ・ 昨今の社会情勢等を踏まえ、確実な工期遵守への工夫として優れた提案がなされているか。	4点
	(6) 工事中の安全対策 ・ 工事中の安全対策への工夫として優れた提案がなされているか。	4点
	(7) 工事中の環境対策 ・ 工事中の周辺環境等への配慮として優れた提案がなされているか。	4点
2. 管理運営業務に関する事項		18点
	(1) 安定稼働 ・ 処理困難物の混入防止に資する運営上の工夫として優れた提案がなされているか。 ・ ごみ量・ごみ質の変動等に対する運営上の工夫として優れた提案がなされているか。	4点
	(2) 環境負荷の低減 ・ 各施設における省エネルギー化の推進に資する運営上の工夫として優れた提案がなされているか。 ・ 排水の再利用に向けた運営上の工夫として優れた提案がなされているか。 ・ その他環境負荷低減に資する運営上の工夫として優れた提案がなされているか。	4点
	(3) 維持管理計画 ・ 本施設の長期使用に資する維持管理計画上の工夫として優れた提案がなされているか。	3点
	(4) 非常時の継続稼働 ・ 災害時における施設の継続稼働に資する運営上の工夫として優れた提案がなされているか。 ・ 施設の事故・不具合等に対する運営上の工夫として優れた提案がなされているか。（具体的に想定される事故・不具合等を挙げて、その対策を示すこと。）	4点
	(5) 運搬計画 ・ 運搬効率の最大化に資する運搬計画上の工夫として優れた提案がなされているか。	3点
3. 事業計画に関する事項		12点
	(1) 事業実施体制の考え方	3点

審査項目（小項目別）		配点
	・ 本事業の実施にあたり、長期的、安定的な管理運営のための業務実施体制の構築（実績等）、セルフモニタリングの実施等について、優れた提案がなされているか。	
	(2) 長期収支計画の安定性 ・ 長期収支計画の策定にあたり、適切かつ安定的な収支計画について、優れた提案がなされているか。 ・ S P C または事業者の経営において不測の事態発生時における備えについて、優れた提案がなされているか。	2 点
	(3) リスク管理 ・ リスク管理の基本的な考え方について、優れた提案がなされているか。 ・ 本事業に伴うリスクの認識とその対応策に関して、優れた提案がなされているか。	4 点
	(4) 地域経済への貢献 ・ 本事業における地元事業者（南房総市に本店又は支店・営業所を有する企業・団体）の活用方針について、優れた提案がなされているか。 ・ 本事業における地元人材（南房総市に在住している者）の活用方針について、優れた提案がなされているか。 ・ その他、地域への貢献について、優れた提案がなされているか。	3 点
1～3の計（入札価格以外の審査項目）		60点

ア 提案内容の加点審査

提案内容の加点審査の審査結果は、以下に示すとおりである。

表7 加点審査結果一覧

審査項目			配点	得点
				参加者番号 001
1 設計・建設業務に関する事項			30点	19.50点
(1)	安定稼働		4点	3.00点
(2)	施設配置・動線計画		5点	3.75点
(3)	環境負荷の低減		5点	3.75点
(4)	非常時の継続稼働		4点	3.00点
(5)	工期遵守		4点	2.00点
(6)	工事中の安全対策		4点	2.00点
(7)	工事中の環境対策		4点	2.00点
2 管理運営業務に関する事項			18点	10.00点
(1)	安全稼働		4点	2.00点
(2)	環境負荷の低減		4点	2.00点
(3)	維持管理計画		3点	1.50点
(4)	非常時の継続稼働		4点	3.00点
(5)	運搬計画		3点	1.50点
3 事業計画に関する事項			12点	6.75点
(1)	事業実施体制の考え方		3点	1.50点
(2)	長期収支計画の安定性		2点	1.00点
(3)	リスク管理		4点	2.00点
(4)	地域経済への貢献		3点	2.25点
合計			60点	36.25点

イ 入札価格に関する加点審査

入札価格に関する加点審査の算出結果は、以下に示すとおりである。入札価格得点は、落札者決定基準に基づき、得点化を行った。

(算定式) $\text{入札価格得点} = \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}} \times 40\text{点}$
--

表8 入札価格の得点化結果

審査項目	参加者番号001	
予定価格	8,472,420,000 円	
	整備費の上限	4,880,348,000 円
	運営費の上限	3,592,072,000 円
最低価格	8,470,000,000 円	
入札価格	8,470,000,000 円	
	整備費	4,879,600,000 円
	運営費	3,590,400,000 円
得点	40.00点	

※消費税及び地方消費税の金額を含む。

(4) 総合評価値の算出

提案書類及び入札価格の加点審査の結果より、入札参加者の総合評価値は、以下に示すとおりである。

表9 総合評価値の算定結果

審査項目	配点	参加者番号001
入札価格以外の審査項目	60点	36.25点
入札価格に関する項目	40点	40.00点
総合評価値	100点	76.25点

(5) 最優秀提案の選定

入札審査会は、落札者決定基準に基づき審査し、総合評価値の算定結果より、「新明和工業株式会社グループ（参加者番号001）」を最優秀提案者として選定した。

4. 落札者の決定

本市は、選定結果を踏まえ、令和7年1月17日に「新明和工業株式会社グループ（参加者番号001）」を落札者として決定し、令和7年1月23日に公表した。

5. 審査講評

提案について入札審査会が評価した事項を以下に示すとおりである。

表10 入札審査会が評価した事項

審査項目（小項目別）	評価した事項
1. 設計・建設業務に関する事項	
（1）安定稼働	・ごみ量・ごみ質の変動時の対応に関する優れた提案があった点を高く評価した。 ・計量棟における作業の省力化に関する優れた提案があった点を高く評価した。
（2）施設配置・動線計画	・一般持込車両動線の安全性の確保、各車両動線の利便性の向上に関する優れた提案があった点を高く評価した。 ・資源化施設における安全性の確保に関する優れた提案があった点を高く評価した。
（3）環境負荷の低減	・可燃ごみ中継施設の省エネルギー化の推進に関する優れた提案があった点を高く評価した。 ・環境負荷の低減に配慮した重機・コンテナ運搬車の選定に関する優れた提案があった点を高く評価した。
（4）非常時の継続稼働	・地震対策、強風対策等の施設の強靱化に関する優れた提案があった点を高く評価した。 ・施設の事故・不具合事例を考慮した設備の導入に関する優れた提案があった点を高く評価した。
（5）工期遵守	・グループのネットワークやモニタリングを活用した、工期遵守に関する優れた提案があった点を評価した。
（6）工事中の安全対策	・工事車両の増加に配慮した、一般通行者の安全及び利便性の確保に関する優れた提案があった点を評価した。
（7）工事中の環境対策	・近隣地域への騒音・振動・排水等の影響の低減に関する優れた提案があった点を評価した。
2. 管理運営業務に関する事項	
（1）安定稼働	・処理困難物の混入防止及びごみ量の変動に関する優れた提案があった点を評価した。
（2）環境負荷の低減	・省エネルギー化に向けたモニタリング及び削減対策、排水の監視に関する優れた提案があった点を評価した。

審査項目（小項目別）	評価した事項
（３）維持管理計画	・実績を活かした補修計画の作成、難易度の高い修繕工事への対策に関する優れた提案があった点を評価した。
（４）非常時の継続稼働	・同一広域内施設との連携に関する優れた提案があった点を高く評価した。 ・近郊・遠方両面でのサポート体制の構築に関する優れた提案があった点を高く評価した。
（５）運搬計画	・コンテナ入替時間の短縮、ごみ積載率の最大化に関する優れた提案があった点を評価した。
３．事業計画に関する事項	
（１）事業実施体制の考え方	・豊富な実績を有する業務実施体制、具体的なモニタリング実施体制に関する優れた提案があった点を評価した。
（２）長期収支計画の安定性	・良好な財務状況にある構成企業による運営、実績を踏まえた適切かつ安定的な収支計画に関する優れた提案があった点を評価した。
（３）リスク管理	・各段階におけるリスクの認識及び予防策、リスク顕在化時の拡大防止策等に関する優れた提案があった点を評価した。
（４）地域経済への貢献	・地元事業者の活用方針及び具体的な取組に関する優れた提案があった点を高く評価した。 ・地元人材を積極的に採用するための施策や教育に関する優れた提案があった点を高く評価した。

6. 総評

本事業は、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、鴨川市、鋸南町及び本市の7自治体で実施している第2期君津地域広域廃棄物処理事業による新たな焼却施設の建設に係り、本市及び鋸南町で発生する可燃ごみ等を効率的かつ確実に新焼却施設に運搬を行うことを目的に、可燃ごみ中継施設の整備及び運営、住民等が自ら搬入する一般廃棄物の受入、資源ごみ・粗大ごみ等の可燃ごみ以外の一般廃棄物を選別・圧縮・保管・貯留するため整備する資源化施設の整備を行うものである。

併せて、本事業において、本市が本施設の整備及び運営の業務を民間事業者に一括かつ長期的に委ねることにより、民間事業者が創意工夫をし、本施設の市財政負担の縮減及び公共サービスの水準の向上を図ることを目的として、DBO方式で実施する事業である。

本事業は、本市のごみ処理において、基幹となる施設の整備運営事業であり、周辺環境への環境負荷の低減を図りつつ、設計建設から管理運営まで安定し安全な事業を実施するとともに、地域住民の安心を第一に取り組む必要がある。

今回の入札参加者の新明和工業株式会社グループ（代表企業：新明和工業株式会社）の提案は、本事業の目的や各業務の実施内容について本市が要求する水準を上回る提案内容であり、最優秀提案として選定するに至った。

入札審査会における審議では、新明和工業株式会社グループの提案内容は、豊富な実績を活かした安定稼働及び安全への対策及び体制の構築、同一広域内施設との連携、全国規模でのサポート体制の充実等における提案が高く評価された。一方で、以下に示す配慮事項が挙げられた。

- 本市と綿密な協議を行い要求水準書と提案書の齟齬がないよう、十分留意すること。
- 令和9年4月の稼働開始に遅れのないよう工期を確実に遵守すること。
- 排水については十分な配慮を行うほか、周辺環境への影響の最小化に努めること。また、処理困難物の混入防止及び混入に伴う火災対策は万全とすること。
- 事業体制における指示命令系統を明確化するほか、不測の事態発生時においても、施設運営への影響が最小限となるよう万全の事業推進を図ること。
- 長期事業であることを踏まえ、業務品質の低下や要求水準の未達が生じることとならないよう、運営水準・地域への配慮の維持に努め、適切なモニタリングを実施すること。
- 地元雇用について、待遇面を含め安定した雇用の継続を実現すること。また、地元企業への発注について目標の達成に努めること。

今後、本市と新明和工業株式会社グループが良好なパートナーシップを構築し、適切なごみ処理を実施することを期待する。そのため、上記の配慮事項については、入札及び契約の公平性を妨げない範囲において本事業をより良いものとするため、本市と十分な協議を行い、真摯な対応に努めると共に、提案内容を順守し、今後の事業期間にわたり質の高い公共サービスを提供するよう期待する。

令和7年2月10日

南房総市中継施設建設運営事業総合評価入札審査会
委員長 嶋田 守